東京都の福祉保健行政への意見・要望等（自由意見）

東京都の福祉保健行政への意見や要望等について、自由に書いてもらったところ、818人（「特になし」は除く。）から要望や意見が寄せられた。

内容は極めて多岐にわたっており、紙面の都合上全てを掲載することはできないが、意見の趣旨を損なわないように配慮しながら意見をまとめるなどして、できる限り掲載するよう努めた。回答者数の内訳及び主な意見・要望と各件数は、以下のとおりである。

回答者数の内訳（単位＝人）

	回答者数
父	258
母	560
計	818

主な意見・要望の内訳（単位＝件）

	内 容	父	母	合計
1	保育に関すること	47	201	248
2	児童健全育成	11	43	54
3	学校・教育	4	31	35
4	子育て支援	33	135	168
5	児童に関する手当	11	20	31
6	ひとり親家庭福祉	1	42	43
7	住環境	23	70	93
8	バリアフリー	4	24	28
9	保健・医療	19	57	76
10	児童虐待	7	34	41
11	広報	32	44	76
12	調査関係	28	42	70
13	その他	76	88	164
	合 計	296	831	1,127

※お一人で複数の内容についてご意見・要望を記入いただいた場合は、内容ごとに集計している。

主な意見・要望は以下のとおりである。

1 保育に関すること

- ・ 待機児童解消への整備をお願いします。両親ともフルタイムで働いていても入園できない児童が多くいます。入園できない事を理由に働く場を失うのは少子化につながると思います。(30代、母親)
- ・ 保育園をもっと増やしてください。保育園に定員があっても、なおかつ親の職業形態によって入りづらいなんて、子供を産まなければよかったと後悔してしまう。このままでは安心して2人目を産もうと思えないし、周囲にも出産を進められない。(30代、父親)
- ・ 自宅近辺には一時預かり施設が少ないです。気軽に利用できると、より子育てにも余裕ができます。両親共に遠方で預けられる身寄りがないので、より充実したサービスになると助かります。(20代、母親)
- ・ 保育園もなかなか空きがなく、一時預かりや認証保育園に預けると、保育料が高く収入がプラスにならないため、働きたいけど働けないとあきらめている人がたくさんいます。短時間で預けようとするとうまく働く場所がなく、長時間預けると家計の足しにならないのが現実です。(40代、母親)
- ・ 働きたいと思っても、子供の帰宅時間との兼ね合いや、子供が病気等で家にいる場合の預け先がなく、踏み出す事ができません。本来は病気の子供にはついていてあげたいので、休みを取りやすい環境も必要だと思います。(40代、母親)

2 児童健全育成

- ・ 小学4年生から6年生までを預かってくれる学童保育を早急に作ってください。安心して勉強や仕事ができる環境が必要です。(30代、母親)
- ・ 学童、児童館を各学校に設置してください。(40代、母親)
- ・ 学童保育は地域差が大きいようなので全体の質を上げてほしい。学童保育は良い活動を行っているが、人数が多すぎてけがが多く、静かに落ちつける場所がない。(40代、母親)

- ・ 特別支援学級児童の放課後の居場所を作ってください（出来れば学校の近くに）。学童保育は親が働いていないと預かってもらえません。子供も成長するにつれ子供同士のコミュニケーションが必要になりそれが自立に向けての訓練にもなります。（40代、母親）

3 学校・教育

- ・ 教員の無気力を残念に思う。いじめがあっても動いてくれるとは思えない。いじめや心配事があった時学校の担任の先生に相談できれば良いと思う。（30代、母親）
- ・ 富裕層も多い東京都において、格差の拡大と階層固定が進まないよう、公教育の充実や社会的養護が必要な児童に対する施策の充実に期待する。（30代、母親）
- ・ 発達障害の子供を対象にしたサービスや地域の環境を整えてほしい。特に、教員の理解がないと学校に通う事も難しい。（30代、母親）

4 子育て支援

- ・ 短時間（30分）、短期間（1日～1週間）でも参加できるボランティア（例えば、公園で子どもが安全に遊んでいるか見守るだけとか）のシステムがあると、うれしいです。（30代、母親）
- ・ 仕事と育児の両立には職場の理解が重要であると思う。職業によっては、子供が病気でも休めないこともある。休んでしまった場合、上司から嫌味を言われたり、家に持ち帰りの仕事が多かったりと両立には大変なことが多い。行政にも限界があり企業がどう対応していくかによるのだと思う。（30代、母親）
- ・ 育児支援は保育所の増設や育児休暇制度など働く母への支援が多いようですが、育児と仕事の両立より子供が小学校に上がるまでは家庭で育児をしたいと思う人もたくさんいます。小さな子供を家庭で養育するのも親の権利だと思います。数年のブランクや年齢が高くなっても再就職しやすいように支援してほしいです。もっと職業訓練や仕事の斡旋を充実させてください。（40代、母親）
- ・ 他県に比べて東京都の子育て支援は充実していると思いますが、都内でも住んでいる自治体によって制度等が異なることに疑問を感じます。（30代、母親）
- ・ 児童館で行われるセミナーのようなものをもっと増やして頂けると子を持つ親が参加しやすいですし、育児サポートにも繋がると思います。（40代、母親）

- 男性の育児について再度考えて頂きたい。職場環境の整備がまだまだ社会的にも理解されていないのでぜひ協力してもらいたい。(20代、父親)
- 子供が安心できる自宅に保育に来てくれる保育士さん等の派遣制度が整備されると良いと思います(ベビーシッター制度)。(40代、母親)
- 子育て広場は充実してきたと思っていますが、本当に必要な人(子育てに悩み誰かの手を必要としている人)はそういった場に参加することすら出来ないのではと思っています。どのように行政や地域が関わるのかが難しいところだと思っています。(40代、母親)
- 我が家ではシルバーセンターから家事手伝いに週1回程度派遣してもらっています。このような制度をもっと活用できるようにチケットを配布したり、補助金を出したりすれば、家で一人で子供を見ている母親の話し相手になってくれたり、相談やアドバイスも聞いてもらえます。親の負担も減れば子供との時間が取れますし、親のイライラも減ります。高齢者の雇用にも役立つし一石二鳥だと思います。(40代、母親)

5 児童に関する手当

- 児童手当等経済援助をもっと充実させてください。出産費用の無償化をお願いします。(30代、父親)
- 子供を育てるには心理的、体力的そして金銭的にも負担が大きい(良い事もたくさんある)。特に3人以上の子供を持つ家には金銭的な補助があるべきと感じます。(40代、父親)
- 住民税の子供に対する扶養控除がなくなり税額が増えたため、子供手当をもらっても負担は変わりません。(50代、母親)
- 3歳までの手当を手厚くするのは納得がいかない(負担が少ないのでは?)。本当にお金がかかるときに手当を出すべきだと思う。(30代、母親)

6 ひとり親家庭福祉

- 現在実家に住んでおり、受給要件を満たさないために児童扶養手当などを受けられないことがつらく、不利に感じる。そんな生活の中、不正に生活保護などを受給している方をみると、なんとも腹立たしく思う。(20代、母親)

- ・ 高年収ならば扶助はいらないと思います。一般的な年収がもらえないとひとり親家庭は貧しい生活のままだと思います。貯金をする余裕もないので、子供の教育費や大学受験の時は、どうすればいいのだろうと不安になります。（50代、母親）
- ・ 子供が成長していくにつれ、学費等の負担が増えると同時に親の介護等が重なるなど経済的負担が増えるので、義務教育以降の子供のいる世帯に対しての支援を増やしてほしい。（40代、母親）
- ・ ひとり親への住宅支援を充実させてほしいです。民間住宅は子供やペットがいるひとり親は入居できる物件が少なく、都営は空室がなく、行き場がありません。ひとり親家庭の家賃補助などあればひとり親でも生きていけると思います。（40代、母親）

7 住環境

- ・ 子供達が安心・安全に遊べる広場を作っていただきたいです。現状は、汚い（ゴミ、フン、たばこなど）、大人のマナーが悪い、ボール遊びができない、うす暗い、思いっきり声を出してはしゃげない。子供が子供らしく遊べる所がほしいです。（30代、母親）
- ・ ただ広いだけで、ボール遊び不可の公園ばかり。子供たちが楽しく遊べる遊具のある公園がほしい。子供達をゆったり楽しく3時間程度遊ばせられる公園が近くにいくつもあれば、親はのんびりゆったりした気持ちで子育てができます。（40代、母親）
- ・ もっと野球やサッカー等の球技ができるグラウンドや広場を増やしてほしいです。（40代、父親）
- ・ 地域で不審者が出た時に学校などからメールがきますが、情報が遅い。パトロールも必要だが、もっと早く情報が出せるようにしてほしいです。自治体の広報車で付近を回って、近所に不審者が出たことがわかれば、もっと注意できるかなと思います。（30代、母親）
- ・ 通学路の安全も兼ねた歩道拡張や横断歩道等の整備。公共機関の案内などが、子供にわかり易く表示してほしい。（ex. バスの路線図や時刻表、駅等の案内表示）（30代、母親）

8 バリアフリー

- ・ 駅にはまだエスカレーターのみや階段のみの所が多々ある。乗換えの時に階段しかなく、ベビーカーを持ちあげながらの移動が大変である。（30代、母親）

- ・ 乳幼児を連れての食事の出来る場所や、赤ちゃんの休憩室、個室の授乳スペースを充実させてほしい。／ベビーカーでの買い物がしづらい（特に商店街）。／電車・バスでベビーカーを使うと周りの方に嫌な顔をされる。／優先席がまったく優先になっていない。妊婦がきてもしらん顔である。（20代、母親）
- ・ もっとバリアフリーを進めてほしい。ベビーカーであたり前に入れる店舗や周囲の理解が深まっていく取組をして頂きたい。駅のエレベーターが少ない。かなり遠回りしないと乗換が出来なかったり、出口から遠く離れた所に一箇所だけ設置されていたりする。台数も足りない。いつもベビーカーを持ったママさんがエレベーター待ちをしているような状態。充実をお願いしたい。（30代、母親）

9 保健・医療

- ・ 都内には大学病院も多く小児医療体制は整っているように見えるが、地域によって病院が偏っているため、遠い所まで行かなければならない。（30代、父親）
- ・ 任意ワクチン（ヒブ、肺炎球菌等）を無料にしてほしい。まともに受けようと思うと家計の負担が大きい。（30代、母親）
- ・ 中学までの医療費無償化は、他の自治体に比べ素晴らしいものと思います。安定した財源がある都の施策として、就学中（高校・大学）の無償化まで延長いただければ大変助かります。（40代、母親）
- ・ 現代社会においては女性の高齢出産が増え、不妊に悩む夫婦も増えています。その中で不妊治療に対する社会のケアがまだまだ低く、治療費が高額である。東京都がというよりも日本国として不妊治療に対する費用負担を国民全体で支えていくという考え方が必要であると思います。（30代、母親）
- ・ 障害者手帳を持っている、持っていないに関わらず、病気の状態によって適切なサポート体制をつくって頂きたい。様々な病気をかかえる子供たちがいるので、その子供たちにあった支援が必要であると思います。（30代、母親）
- ・ 出産前の母親学級以外にも、出産後に、乳幼児の体調管理や病気について学ぶ講座を行うとよい。（40代、母親）

10 児童虐待

- ・ 虐待につながる背景の問題が解消されないと見守っても通告しても解決にはならないと思います。どんな家庭でも良い教育が受けられて大学まで通えて就職できるような、「心のゆとり」をもって子供が育っていける社会が実現すれば虐待なんて起きなくなるだろうと常々思っています。（30代、母親）
- ・ 日々見聞きする虐待の話に心を痛めています。現場の方は頑張っていらっしゃるのかもしれませんが、制度的にも社会環境的にも、まだまだ整っていないと感じます。もっと児童相談所の権限を強化して、被害にあっている子を救える体制をすぐにでも作るべきだと思います。また、虐待予備軍の保護者たちをどうしたら加害者にしないようにできるか、企業・地域・教育などあらゆる所が連携して、社会全体で考えるべきです。（40代、母親）

11 広報

- ・ 何をしているのか分からないことが多い。いろいろやっても、やっていることが分からなければ意味がない。もっと認知されるような広報活動も必要なのでは。（30代、父親）
- ・ うちは一家庭ですが、毎日子育てと仕事であまり色々調べる時間がありません。色々なサービスや便利なこともあるのかもしれませんが、私たちに少しでもメリットのある事はこちらから調べなくてもわかるようにしてほしいです。（30代、母親）
- ・ 区市町村の行政については身近に感じる場所もあり、多少の知識はあるが都となるとわからない点が多い。都と区のサービス等の役割分担（区にはないが都で実施しているサービス等）のPR冊子があればいいと思います。（30代、父親）

12 調査関係

- ・ 質問数が多すぎて、子育て中の時間のなかで回答するのが大変でした。もう少し数を減らしていただければもっと良かったです。（30代、母親）
- ・ 今回の調査は主に乳幼児向きのように思いました。小学生高学年に向かない質問が多く感じられあまり調査の意味が無かったように感じました。（40代、母親）
- ・ 意味のある調査にして頂けたらと思います。ただのパフォーマンスで終らず調査データを参考に今後、福祉に役立ててもらえればと思います。（20代、父親）

- ・ こういったアンケート等は、インターネットを使用して行ってはどうか。(30代、父親)
- ・ 質問が長すぎてわかりづらいです。もう少しわかりやすく簡単にしてほしいです。(40代、母親)

13 その他

- ・ 都民が納める税金を効果的、効率的に使う視点を持って、信頼される行政の運営をお願いします。期待しています。(30代、父親)
- ・ これからの日本の将来をつくる子供たちにお金をもっとかけるべき。教育・人権を守ることは、予算をけずってはいけないと思う。(40代、母親)
- ・ 同じ東京都民なのに区や市によって子育てのための支援や補助に差が出るのは理解できません。区市の取組であっても都が統括して支援を行い、内容を統一するべきだと考えます。(40代、父親)
- ・ 様々な取組を行っているのだと思うが、薄く広く行っているため、自身が利用している又は利用したいと思うような都のサービスはない。国や区市町村との住み分けをきちんと行い、薄く広くではなく選択と集中をして効果的な施策を進めて頂きたい。(30代、父親)
- ・ 東京都の決定は日本にとって重要な決定になります。日本の将来を左右するのは福祉保健行政のあり方だと思います。(30代、父親)
- ・ 障害児の就労や自立のための環境が全く整備されていないと思う。もっと現況を知ってほしい。(50代、父親)